

スマートファームプロジェクトの成功を願う

株式会社MOVIMAS(モビマス)の
現地採用社員第1号
熱水ハウスでバジル栽培に取り組む

尾友 恵美 さん

おとも・えみ 35歳 北村



昭和59年生まれ。高校卒業後、宮城県内で事務職やアパレル販売などに従事し、平成20年に帰郷。市役所の臨時職員などを経て、29年11月に(株)MOVIMASへ入社し、初めて就農した。松尾地区上寄木野菜団地にある熱水ハウスでバジルの栽培に従事している。

松尾地区の野菜団地にある未活用だった熱水ハウスを、水耕栽培やIOT(さまざまな機器をインターネットでつなぐ技術)制御システムで再生させる「スマートファームプロジェクト」が平成29年9月から始まっている。上寄木野菜団地でバジル生産の管理者を務める尾友恵美さんは「手塩にかけたバジルが、商談会で褒められたり、『温泉バジルアイス』に商品化されたりして、成果が見えることがうれしい」と笑顔を浮かべる。

29年11月、求職中だった尾友さんは同プロジェクトの立ち上げを知り、(株)MOVIMASへ就職。同団地の別棟を管理するグリーンラボ(株)の生産者から作業を教わり、経験を積んだ。バジルの収穫や整枝を毎日こなし、定期的に養液を補充。気温や養液供給記録などはクラウドで制御す

る。それでも病害虫の被害により収量が減って、気分が落ち込むこともあった。「生産者の皆さんや農業経験豊富なパートさんの協力のおかげで2年間やつてこられた」と感謝する。

(株)MOVIMAS関連会社の(株)八幡平スマートファームは、荒廃していた高石野菜団地に今後3年間でハウス50棟を建設する。先行して今年の11月にハウス12棟が完成すると、バジルの本格的な生産が始まる。尾友さんは「このプロジェクトを必ず成功させた」と意気込んだ。



気温、湿度などを端末で確認、設定しハウス内環境を管理

編集後記

▽日本列島各地で猛威を振るった台風19号。取材を予定していた安代オリンピックも中止に追い込まれました。4年に1度の安代地区の運動会。残念ですが、被災地のことを思うとそんなことを言ってられません。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。

▽(株)MOVIMASの尾友さん取材。10月8日(地熱の日)から販売を開始した「温泉バジルアイス」を食べにノグレットへ行ってきました。カップアイスになっていて、蓋を開けるとバジルの香りが漂い、爽やかでおいしかったです。皆さんもぜひ食べてみてください。

▽約1カ月半にわたって開催されたラグビーW杯が幕を閉じました。競技の楽しさはもちろんですが、ノースサイドの精神や各地でのおもてなしなど、試合内外で感動を届けてくれた素晴らしい大会でした。釜石をはじめ、大会に携わった方々の尽力に感謝します。▽パナソニックワイルドナイツが市で合宿した写真を見返してみると、本大会で活躍した堀江選手や福岡選手の姿も。すごい人たちが来ていたんだと改めて実感。▽市内のラグビー場には大会や合宿で多くのチームが訪れます。NZカシミア高と県選抜の高校生の試合でも、体が激しくぶつかる音が聞こえてくるほどの迫力です。私のように「にわか」でもラグビーに興味を持った人は一度足を運んで生で見てほしいです。地域の盛り上げが、日本ラグビー界の裾野を広げ、次回大会での4強入りにつながるかもしれません。(多)